

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年8月8日（火）

2 確認箇所

A排水路移送経路（H1東～H4北・H4南タンクエリアへの移送経路、H4北・H4南タンクエリア、H4北・H4南タンクエリア～プロセス主建屋への移送経路（1～4号機周辺防護区域外まで））

3 確認項目

A排水路移送経路の状況

4 確認結果の概要

東京電力福島第一原子力発電所の主な排水路には、放射線モニタ及び電動ゲートが設置されており、排水路の放射線濃度が基準を超過した場合は、遠隔でゲートを閉止し、排水路に流入した水をタンクエリアの堰内等に移送することにより、海への流出を防止することとしている。

大きな地震等により、ALPS処理水測定・確認用タンク（K4タンクエリア）の連結管等が破損し、ALPS処理水が漏えいしK4タンクエリア外堰を越流する事象が発生した場合には、越流したALPS処理水がA排水路に流入する可能性があることから、A排水路の電動ゲートが閉止された際の排水路の水の移送経路を確認した。なお、6月22日に、ALPS測定・確認用タンクにおける異常時発生時の機動的対応訓練の状況を現地確認した際に、A排水路のゲート閉止及びK1北タンクエリア堰内への水移送の状況を確認している。また、8月7日に、A排水路移送経路（K1北、K1南、H1、H1東タンクエリア等）を確認していることから、今回は、H1東タンクエリア以降から、H4北・H4南タンクエリアを経由して1～4号機周辺防護区域直前までの移送経路を確認した。（図1）（前回確認日：令和5年6月22日、同年8月7日）

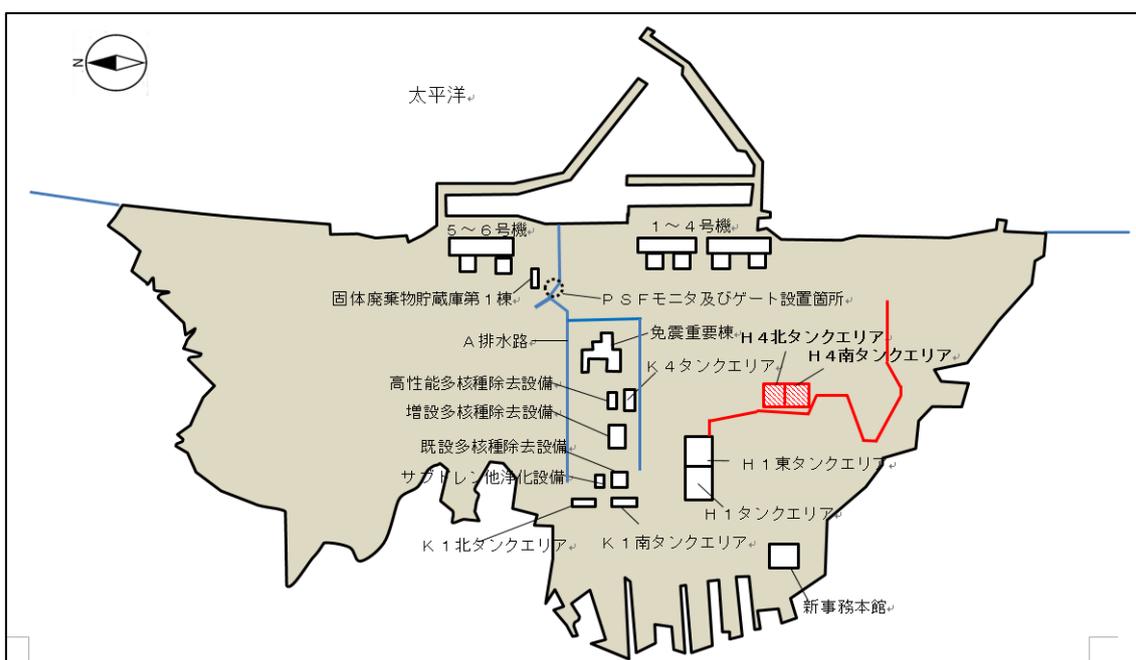
なお、A排水路の水は、K1北、K1南、H1東タンクエリア等の内堰を経由して、プロセス主建屋（PMB）の地下に移送される経路になっている。

- ・H1東タンクエリアからH4北・H4南タンクエリアへの移送配管（耐圧ホース）について、一部U字側溝の中に設置されている部分があった。

（写真1）

- ・H4南タンクエリア西側に、「H1東タンクエリア堰内からH4南タンクエリア堰内への移送配管（耐圧ホース）」及び「H4南タンクエリア堰内からプロセス主建屋（PMB）への移送配管（耐圧ホース）」が設置されていた。（写真2）

- ・ H 4 北タンクエリア堰内から H 4 南タンクエリア堰内に水を移送するポンプが、H 4 北タンクエリア堰内に 4 台設置されていた。(写真 3)
- ・ H 4 南タンクエリア南側等では雨水回収タンク移送設備と同じ経路で移送配管（耐圧ホース）が設置されていた。(写真 4)
- ・ 瓦礫類一時保管エリア J の外周沿いに、移送配管（耐圧ホース）が設置されていた。(写真 5)
- ・ タンクエリア間の移送配管（耐圧ホース）の大部分は、保温材で覆われていたが、一部に保温材の劣化や剥がれが見られた。
- ・ 防護区域近くに設置されている移送配管（耐圧ホース）に、保温材は覆われていなかった。(写真 6)



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1)
地下水バイパス一時貯留タンク北側に設置されている移送配管（耐圧ホース）（赤実線はU字側溝内の配管の位置を示し、矢の方向は下流側を示す。）



(写真2)
H4南タンクエリア西側に設置されている移送配管（耐圧ホース）



(写真3-1)
H4北タンクエリア堰内に設置されているH4南タンクエリア堰内への雨水等移送ポンプ（3台）



(写真3-2)
H4北タンクエリア堰内に設置されているH4南タンクエリア堰内への雨水等移送ポンプ（1台）



(写真4-1)
H4タンクエリア西側に設置されている移送配管（耐圧ホース）



(写真4-2)

H4タンクエリア西側に、移送配管（耐圧ホース）と同じ経路で設置されている雨水回収タンク移送設備



(写真5-1)

瓦礫類一時保管エリアJの西側に設置されている移送配管（耐圧ホース）



(写真5-2)

瓦礫類一時保管エリアJの東側に設置されている移送配管（耐圧ホース）



(写真6-1)

BC排水路の北側に設置されている移送配管（耐圧ホース）



(写真6-2)

BC排水路の北側に設置されている移送配管(耐圧ホース)(防護区域外最終末端)(写真6-1より数m下流側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。